

**鎌ヶ谷市公共下水道事業審議会（書面開催）  
結果報告書**

- 1 開催日時 令和6年2月26日（月）から令和6年3月11日（月）まで
- 2 参加委員 梶岡 源一郎、佐藤 克己、竹村 圭介、高野 武  
小島 正實、坂本 康政、小滝 豊美（7名、全委員参加）
- 3 事務局 都市建設部下水道課
- 4 報告案件 第2次鎌ヶ谷市下水道事業経営戦略の報告について
- 5 経過 令和6年1月 4日 書面開催に係る方針決定  
令和6年2月 9日 書面開催に係る表決書を発送  
令和6年2月20日 書面開催に係る表決書締切り  
※書面開催について 賛成7名、反対0名。  
令和6年2月21日 書面開催を決定  
令和6年2月26日 報告事項に係る意見書を発送  
令和6年3月11日 報告事項に係る意見書締切り  
令和6年3月11日 結果報告書を作成
- 6 結果

No.	意見等	意見等に対する回答
1	投資試算において、ストックマネジメント計画にて計画策定すべきと考えますが、令和29年度以降は平準化されていない。	現在、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を実施しており、下水道施設の状況把握を進めております。その結果を踏まえ、修繕・改築計画の策定を予定しており、今後の経営戦略の改定時に、修繕・改築計画の状況を反映させ、平準化を行ってまいります。

2	<p>地震対策事業やポンプの更新計画もあると思うが、投資試算に組み込まれているか。</p>	<p>ポンプ等の更新計画については、見込んでおります。</p> <p>地震対策事業につきましては、ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築計画の中で必要な対応及び事業費を見込んでまいります。</p>
3	<p>令和4年度に有収水量が減少しているが、コロナによる影響か。また、今後も同様の事態が発生すると思われるが、使用料収入の1ポイント増は確実か。</p>	<p>令和2年度、3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の要請があったことで、在宅時間が増えたことから、使用水量が増となったものと考えております。</p> <p>外出自粛の要請が解除となった令和4年度に減少しておりますが、令和5年度は1ポイント以上の増となる見込であり、今後の整備と合わせて1ポイント程度は増加するものと見込んでおります。</p>
4	<p>人口減少や節水意識の高まりの中、適切な使用料金の設定と不明水の減量化の取組が重要と考えるがいかがか。</p>	<p>下水道使用料については、汚水処理費を使用料金で賄えるよう、4年ごとに検証を行い、適切な料金設定を行います。</p> <p>不明水については、流域関連市による不明水対策会議の実施や本市での宅内検査時の指導など、不明水の減量に向け対応しております。</p>